

台湾・台北市 私立大同高級中学との交流

長生高校では、平成29年5月16日(火)に、台湾・台北市私立大同高級中学からの訪問団との交流を行いました。

これは、千葉県が国際的な視野を持つ人材育成等を目的として行っている海外からの教育旅行の受入れの一環として実施したものです。

当日は、台北市私立大同高級中学の吹奏楽部員を中心とする生徒22名・引率教員2名等計27名の訪問者をお迎えし、1年理数科クラスの生徒とともに英語の授業を体験したり、茶道体験、さらに昼食を一緒にとりながらの歓談など活発な交流が行われました。

【台北市私立大同高級中学(Tatung High School)】

総合科・普通科・機械科・電子科・資料処理科をもつ全日制高校で、『大同公司』(家電製品を中心とする製造販売業)の経営者が創設した工業学校を前身としており、企業による豊富な実務経験の場の提供による現場主義が教育の特徴となっている。

(Wikipediaより転載)



歓迎式では、大山校長先生と陳火炎校長先生の間で記念品の交換が行われました。



今回訪問してくれた私立大同高級中学の生徒たちは、吹奏楽部のメンバーが中心でした。



少人数で実施している1年H組(理数科)の英語の授業に参加しました。



「学校のスケジュール」「部活動」「制服」などのトピックに沿って、意見交換しました。



最初は緊張した様子が見られましたが、会話が進むにつれて表情にも余裕がでてきました。



訪問者たちは作法室に移動し、茶道の作法を学びつつ、和菓子とお茶の味を楽しみました。



再び食堂に集まり、昼食を食べながらお互いの興味関心のある話題について、会話が弾みました。この経験を、将来の進路選択やキャリア形成に生かしてほしいものです。